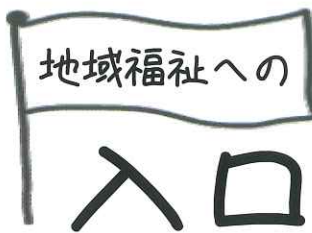


新コーナー
NEW

波岡東地区
生活支援コーディネーター

でぐちの



出口真由美(でぐちまゆみ)さんは、木更津市社会福祉協議会(市社協)の生活支援コーディネーター第一号。波岡東地区の担当になり4年目の今、地域福祉の要として東奔西走の毎日です。

そんな出口さんならではの視点から、感じたこと、伝えたいことをつづやいてもらう新コーナーがいよいよスタート!どんなお話が聞けるのか、一読者としても楽しみです。

活動をしている中で、人生の先輩方に学ばせていただくことがたくさんある。

75歳の方が98歳の母親と生活している。

75歳にして娘の立場を味わっているという、とても幸せなことなのではないだろうか。見ていると微笑ましい。自分と自分の母親を重ね合わせている。

地域の中で75歳の娘が98歳の母親のお世話ができる環境をたくさん作っていききたい。

実家の処分をしたという話を聞いた。どのような状況でどのようにしたか、どのような思いだったのかを詳しく話してくださった。いずれ私達も経験することになるかもしれない問題。困る前に考えていかなくては。

毎日、畑で活動している男性。とても日焼けが似合っている。周辺の畑の作業者との交流、ウォーキング中の方とおしゃべりも楽しんでいる。好きな事を日々出来るこの時がとても幸せそう。

家にいる時間より畑にいる時間の方が多いと。真っ黒に日焼けして笑顔で野菜の話をしている。このような老後も楽しそう。

私にはどんな未来があるのかワクワクする。

地域で出会った方々に学ばせていただいている日々である。

高齢の方が、地域で元気に暮らすための全力サポート! 日々の生活で、なにかお困りのことはありませんか? まずはお電話ください!一緒に考えていきましょう。

出口真由美(でぐちまゆみ)
080-4953-8707

フリースペース 赤ちゃんサロン



第1金曜 10-12時 波岡公民館 和室



新たに今年度発足した『波岡公民館地区 まちづくり協議会』「子育て支援部会」。様々な側面から、地区の子育て世帯のサポートを目指して活動しています。

同部会主催の「赤ちゃんサロン」は、乳児と保護者向けのオープンサロン。和室でのんびりまったり、子育て仲間や先輩ママとお話してみませんか。次回は11月4日です。

今後の予定⇒12月2日・令和5年1月6日・2月3日・3月3日



フリースペース ねんちょうさん

12月4日(日)10-12時
波岡公民館 研修室

R5年に小1になるお子さんと保護者対象の遊びのひろば。まつぼっくりツリーとサンタクロース作り。面白い遊びも!

無料

出入り
自由



地域のみなさまの
ご長寿とご健康を
謹んでお祝い
申し上げます。

10月22日(土)に開催予定の
地区社協主催『敬老のつどい』
は、今年度も中止となりました。

毎年、プログラムへの広告掲載の形で沢山の事業者様に本事業をご援助頂いていました。

残念ながら開催中止とはなりましたが、地域行事への変わらぬご支援に感謝して、お名前を掲載させて頂きます。

Café hanahana
LOANDA

おどや羽鳥野店
モトショップ オオギハラ
Plug-in ニシムラ
こばやし薬品
八幡台歯科医院
羽鳥野接骨院・鍼灸院
羽鳥野歯科クリニック
河木クリニック

ほとりの薬局
森田医院
(有)吉田左官工業
国吉造園

有限会社 長田
(有)高木印刷

八幡台 楽鼓の会
一般社団法人 木更津自動車学校

有限会社 打越保険事務所
六幸電気工業株式会社

日東消毒株式会社
ネモト企画

セントケア木更津おおくぼ
デイサービスセンターとう花

よりそい大久保館・ハートケア貞元館
ハートケア清見台館・ロフ壱番館

社会福祉法人 千葉育美会
(有)やまみ介護サービス

ケアパートナー木更津
めぐみの家 羽鳥野

笑和の郷
いちばん星

いつまでも
元気でいてね



敬称略
順不同



八幡台小6年生の特別授業に地域代表が参加しました！

地域の課題を学び、自分出来る
地域貢献について考える

羽鳥野自治会 石野恵美 会長

八幡台子供会 小崎里香 会長

八幡台・羽鳥野愛犬クラブ 村上洋子 副代表



授業のテーマは、羽鳥野のゴミ問題。地域代表3名は、そのうちの計3回の授業に参加した。(9月16日・28日・30日)

第1回目は、各クラスとオンラインで繋ぎ、ポイ捨てごみや放置フンの現状や取り組みなどについて、まずは各団体から発表。その後、代表児童のパソコンに送られてくる、クラスの質問や感想を共有しながら、みんなで解決方法などについて話しあった。

第2回目は地域に飛び出して、ゴミ拾いと草刈りを実施。ゴミ問題を実際に体験・体感することで、地域の一員としての意識が芽生えたよう。友達と一緒に地域貢献をする楽しさを、感じてくれた。

第3回目は、再度オンライン交流学习。今までの授業の気づきや今後の地域貢献への意気込みなど、活発に意見交換を行った。



ゴミ拾いには、各団体のメンバーや木更津市社会福祉協議会の職員さんたちも多数参加。子ども達と一緒に汗を流した。



どうしたら読んでもらえるかな？ 伝わるかな？
地区社会福祉協議会の広報紙についてのあれこれ

8月初めに、「見やすい！伝わる！広報誌の作り方」と題した情報発信力強化セミナー(広報誌編)が開催されました。

千葉県社会福祉協議会主催。講師は、朝日新聞東京本社ジャーナリスト学校主任研究者の真下聡(まつかあきら)さん。県内の市・地区社協の広報誌担当者が、会場とオンラインで参加しました。

興味を引く見出しや写真、読みやすいレイアウトなどの技術的な話もさることながら、特定の個人をクローズアップしたり、みんなの声を多く載せるなど、地域の繋がりを高める紙面づくりのアドバイスも頂きました。

また、「発生モノ」、つまり日々のちょっとしたニュースに敏感になることがマンネリ化を防ぐコツであるとも教わりました。私がこの『ふれあい』担当になってまだ3年。マンネリとはまだほど遠い新米ですが、必要な情報をキチンとお届けしつつ、地域愛に溢れた紙面づくりを目指して精進するつもりです。

今後、みなさんのご意見、ご感想をより良い広報誌づくりの参考にさせて頂きたいと思っております。また、大変励みにもなりますので、ぜひ皆様の声をお寄せ下さい。お待ちしております。

暖かいご寄付に感謝



ネモト企画代表
根本喜一郎様

ありがとうございました。